

J R 東海 労 申 第 1 6 号
2 0 2 1 年 1 0 月 2 8 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海 労働組合
中央執行委員長 木下 和樹

リニア中央新幹線トンネル工事崩落事故に関する申し入れ

マスコミは「10月27日、19時20分頃、岐阜県中津川市瀬戸のリニア中央新幹線の瀬戸トンネル工事現場で崩落事故が起きたと」報道した。5人の作業員の内、2人が事故に巻きこまれて、1人が死亡、1人が重傷というあってはならない事故が起きた。現場の瀬戸トンネルは本線トンネルが長さが4.4キロで本線への資材搬入にも使う非常口トンネルの長さが約0.6キロの計画で2019年に着工し、崩落現場は非常口トンネルの地上入り口から、約70メートル斜め下に掘り進んだ地点で、掘削作業に伴い火薬を爆破させ、爆破後の点検中に崩落事故が起きたとされている。リニア中央新幹線工事における初めての犠牲者を発生させた。

ルートの8割以上トンネル工事が伴うリニア中央新幹線建設で、今後このような事故は絶対にあってはならないと考える。

同じような事象を発生させない為に、以下の通り申し入れるので、速やかに団体交渉を開催すること。

記

1. 今回の崩落事故に関する会社の見解を明らかにすること。
2. 崩落事故に至るまでの時系列を明らかにすること。また、工事工期に無理がなかったのか明らかにすること。
3. 今回の崩落事故に関する原因と対策を明らかにすること。
4. リニア建設工事を巡っては、2017年12月に長野県中川村の県道脇で崩落が発生した。2019年4月にも中津川市の中央アルプストンネルの非常口トンネル入り口付近でも、崩落が確認されている。このように繰り返される崩落事故が発生するリニア中央新幹線建設工事は即刻中止すること。

以 上